

山形県の女性の暮らし方、働き方に関するアンケート調査(中間報告)について

I 調査の概要

1 趣 旨

- ・若年女性の転出超過が課題となっていることから、転出志向や、希望する暮らし方・働き方の要素等、女性の現状・ニーズを把握する。
- ・調査結果は、オンライン100人女子会の結果とともに、デジタルリポートとしてとりまとめ、県民に広く周知するとともに、今後の施策立案に活用する。

2 対 象

山形県在住または山形県へのUIJターン等に関心がある方（学生・生徒を含む）

3 期 間

令和3年11月8日（月）～11月30日（火）

4 方 法

インターネットによる公開アンケート方式

5 調査項目

- ・生活の満足度
- ・希望する場所・暮らし方について
- ・働く環境と希望する働き方について
- ・性別役割分担等の意識の現状について 等

6 回収数

1,310件（うち 女性1,121件、男性183件、その他6件）

II 回答者の属性

(女性抜粋)

(N=1121)

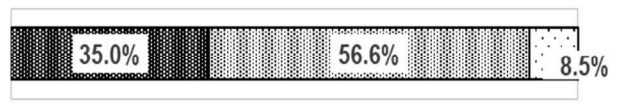
【年 代】

■10代 ■20代 ■30代 □40代 ■50代 □60代以上

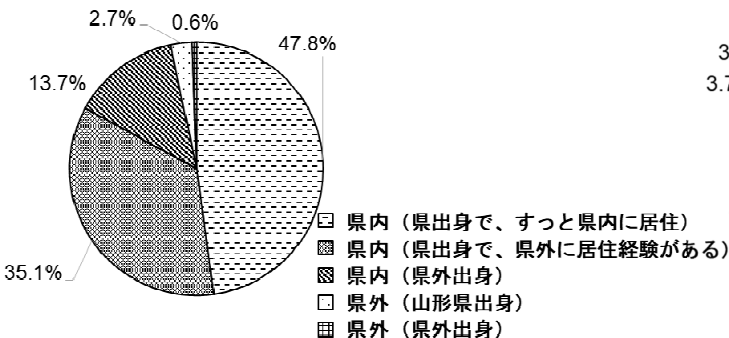


【既婚・未婚】

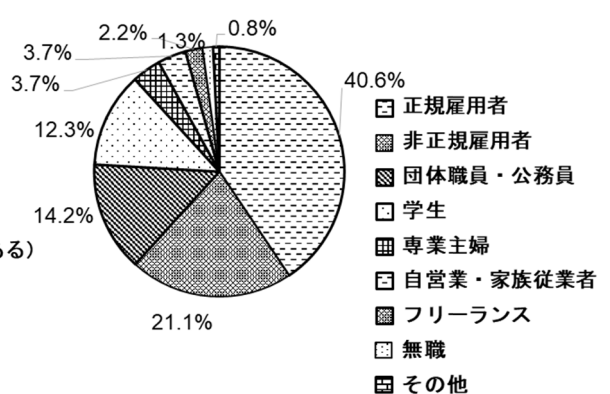
■未婚 ■既婚（配偶者あり） □既婚（離別・死別）



【居住地域】



【現在の職業】



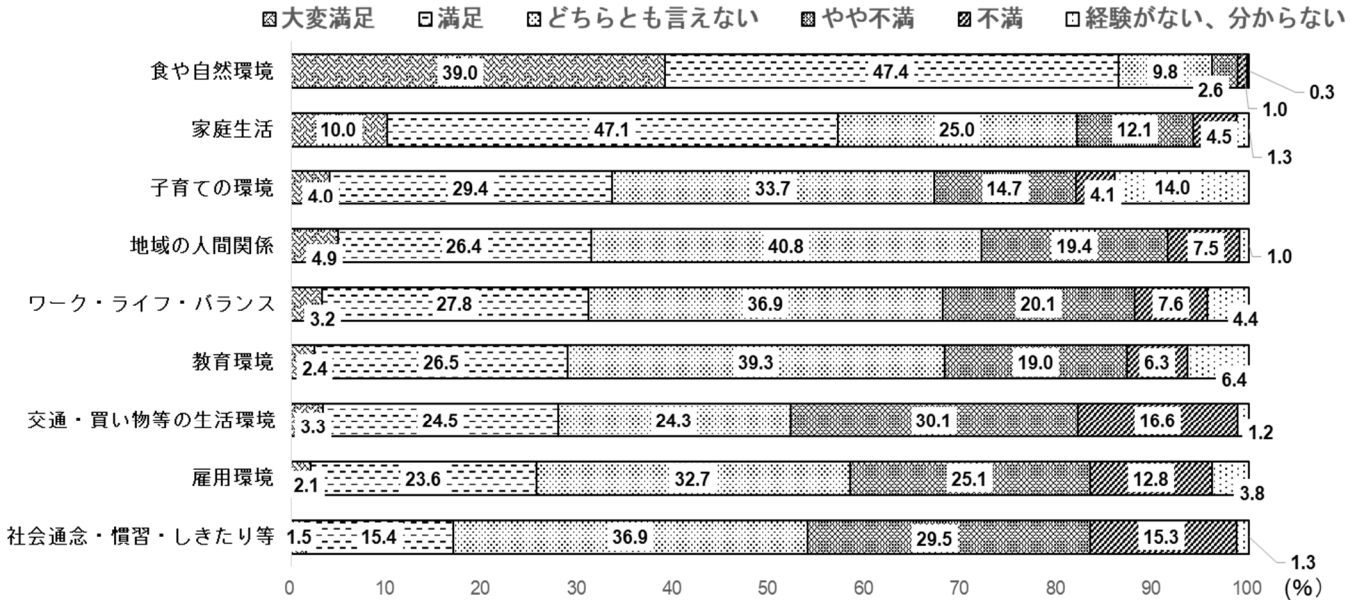
※県内(N=1084)の内訳

(村山地域 57.3%、最上地域 6.3%、置賜地域 14.8%、庄内地域 21.7%)

Ⅲ 主な調査結果

1 生活の満足度

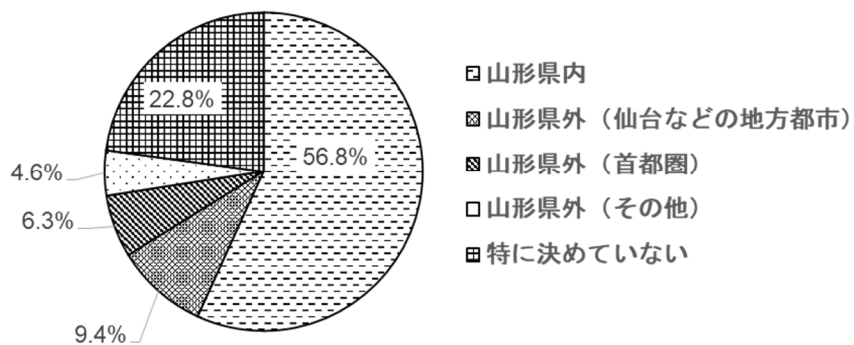
- 「大変満足」と「満足」を合わせた『満足』は、「食や自然環境」が86.4%と最も高く、ついで「家庭生活」(57.1%)、「子育ての環境」(33.4%)となっている。
- 一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、「交通・買い物等の生活環境」が46.7%と最も高く、ついで「社会通念・慣習・しきたり等」(44.8%)、「雇用環境」(37.9%)となっている。



2 希望する場所・暮らし方について

(1) 今後の人生で、最も長く住みたいと思う場所

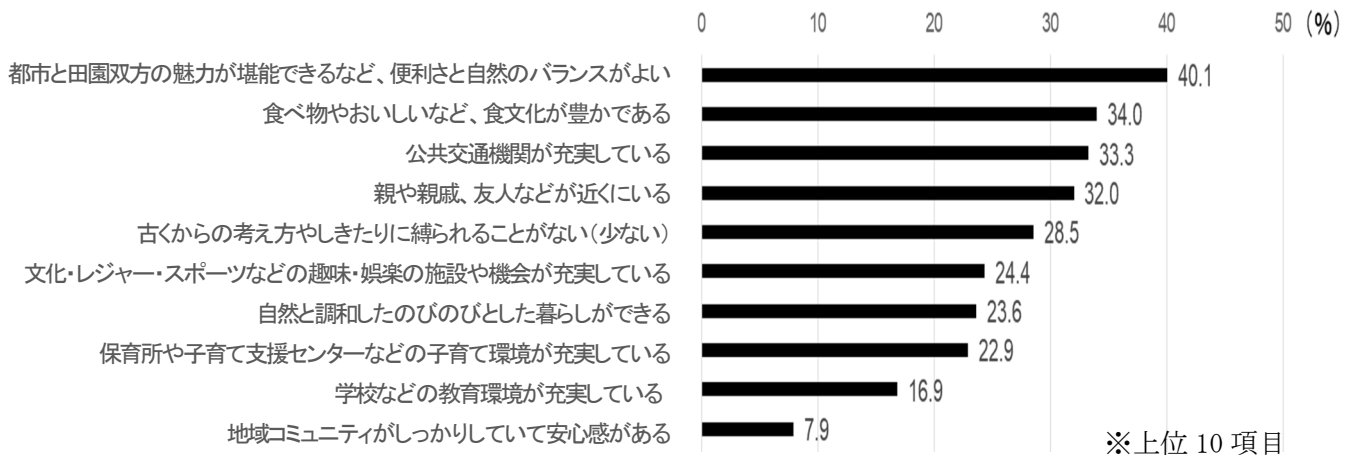
- 「山形県内」に今後の人生で最も長く住みたいと思っている女性は、56.8%にとどまっている。ついで、「特に決めていない」が22.8%となっている。



- 住みたいと思う理由を自由記述式で尋ねたところ、「山形県内」と回答した理由では「住み慣れていて生活しやすい」「実家、家族、友人がいるから」などが多く、「山形県外」と回答した理由では「雪が少なく、交通の便がいい」「賃金が高い」「就きたい仕事がある」などが多かった。

(2) 希望する暮らし方ができる環境とはどのようなものか（3つまで選択）

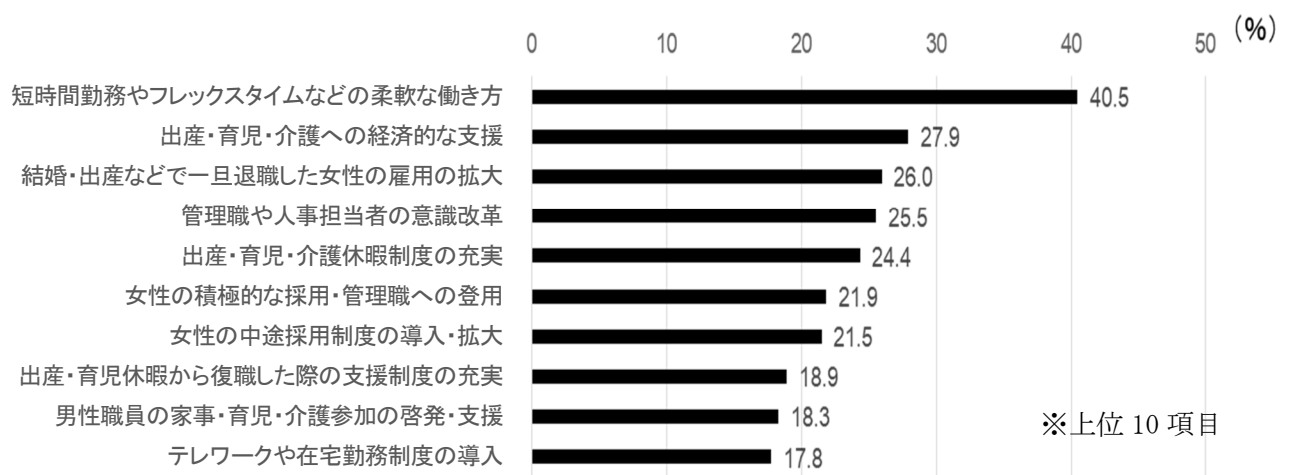
- 「都市と田園双方の魅力が堪能できるなど、便利さと自然のバランスがよい」が 40.1%と最も高くなっている。



3 働く環境と希望する働き方について

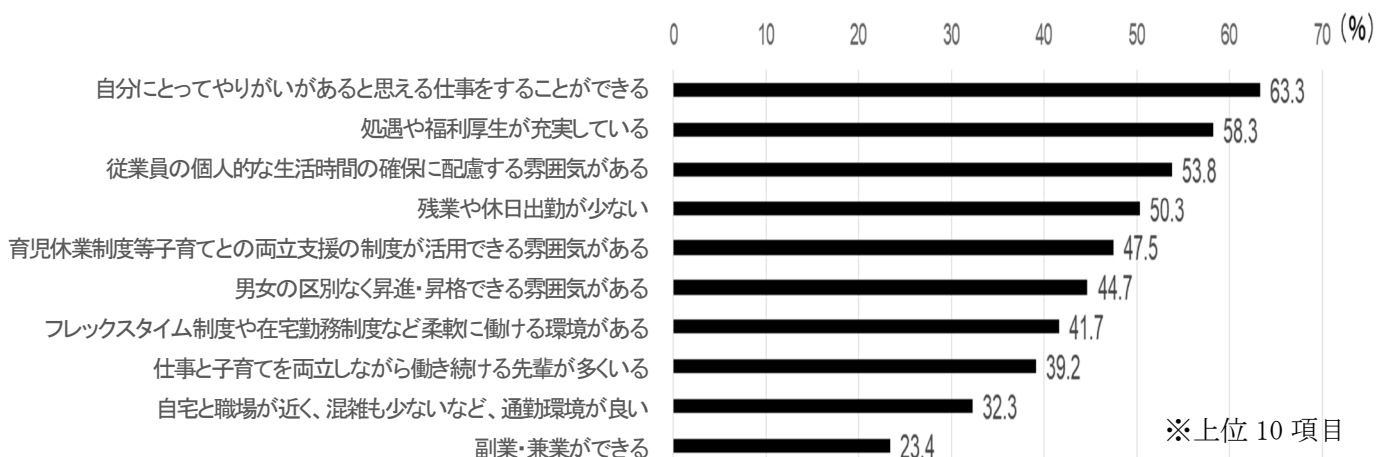
(1) 県内企業に望むこと（3つまで選択）

- 「短時間勤務やフレックスタイムなどの柔軟な働き方」が 40.5%と最も高くなっている。



(2) 希望する働き方ができる環境とはどのようなものか（複数選択）

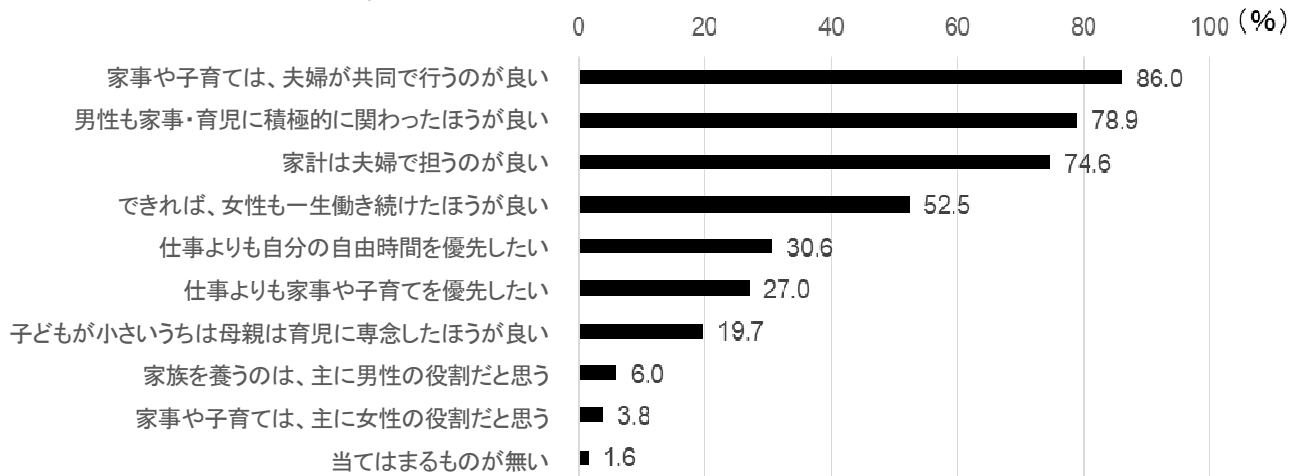
- 「自分にとってやりがいがあると思える仕事をする事ができる」が 63.3%と最も高く、次いで「処遇や福利厚生が充実している」(58.3%)、「従業員の個人的な生活時間の確保に配慮する雰囲気がある」(53.8%)となっている。



4 性別役割分担等の意識の現状について

(1) 性別役割分担意識の現状（複数選択）

- 「家事や子育ては、夫婦で共同で行うのが良い」が 86.0%と最も高く、次いで「男性も家事・育児に積極的に関わったほうが良い」(78.9%)、「家計は夫婦で担うのが良い」(74.6%)となっている。



(2) 山形県での仕事や暮らしの中で感じた違和感（悔しい、がっかり、残念など）（複数選択）

- 「女性への家庭責任(家事・育児・介護など)の偏り」が 62.5%と最も高く、ついで「狭いコミュニティによる息苦しさ」(54.4%)、「『男性(男の子)だから、女性(女の子)だからこうあるべき』という固定観念や慣習」(52.1%)となっている。

